

## 骨傷を伴わない外傷性環軸椎亜脱臼の1例

柴山元英 太田弘敏 鈴木浩之  
高橋育太郎 西野正洋 本美善英  
豊川市民病院整形外科

服部 敏

名古屋市総合リハビリテーションセンター整形外科

Key words: 環軸椎亜脱臼 (Atlanto-axial subluxation), 外傷 (Trauma), 手術 (Surgery)

### はじめに

骨傷を伴わない外傷性環軸椎亜脱臼は稀である。今回われわれは、その1例を経験したので、治療法を中心に報告する。

### 症 例

13歳, 男。

身長 165 cm, 体重 65 kg。

主訴: 頸部痛。

既往歴, 家族歴: 特記すべきことはない。

現病歴: 2000年5月28日, プールで飛び込んだ際に, 底で頭を打って受傷した。近医を受診して環軸椎亜脱臼を指摘され, 翌日, 当科を受診した。

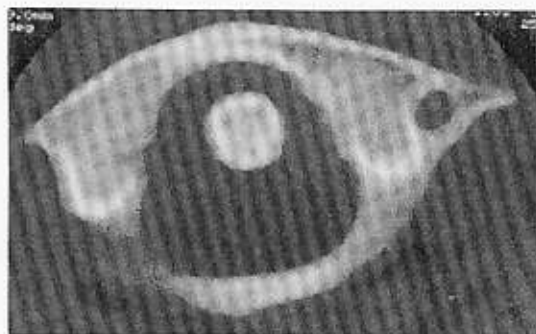
理学所見: 強い頸部痛以外に神経症状はなかった。

血液検査: 特に異常は認められなかった。

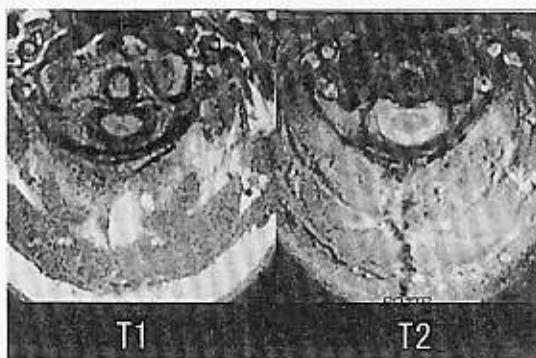
画像所見: 初診時の単純 X 線側面前屈位像で,



図1. 術前単純 X 線側面前屈位像。



a



b

図2. CT像とMRI。

a: CT像, b: 横断MRI

ADIは4 mmと少し拡大しているだけであったが, 1週間後にはADIは8 mmと拡大した(図1)。初診時のCTとMRIでは, 骨傷は認められなかった(図2)。

経過: 家族の強い希望で, 早期の手術は行わなかった。グリソン牽引後, ハローベスト固定の